

# しなかつーリズム はじめの一步

(三次市川西地区)

都市農村交流モニタリング事業記録集



★こんなことをしたよ！  
アルバム&みんなの感想

★民泊先のお父さん・お母さんより

★まちの人の意見をきいてみたい



## はじめに

広島県三次市の川西地区は、典型的な中山間地です。そして、私たちの「ふるさと」です。

私たちは、2006年、地域ぐるみで「まめな川西いつわの里づくりビジョン」をつくりました。その基本目標『いつわで創る田舎暮らしが楽しい里』を目指して、現在、さまざまな実践プログラムを川西里づくり委員会が中心となって調査研究しています。その中の「自然・文化部会」は、「田舎のすくえた自然・生活文化・教育環境の継承発展とグリーンツーリズムの推進」というテーマで取り組んでいますが、「グリーンツーリズムの実施に必要なものは具体的に何か?」「ほしはら山のがっこう活動だけでなく、地域的参加と活躍の場をもったものがどこまで何ができるか」がこれまで不明でした。

この度、三次市の「まちづくり推進支援事業」ができたことに伴い、思い切って実験してみようということで応募したところ採択いただき、この助成を受けて「都市農村交流モニタリング事業」を実施する運びとなったのです。

さて実際に、ワーキングスタッフ（実行委員会）により開催場所や日程などの企画も進み、チラシも作成して募集をはじめましたが、申し込み締切前日にはまだ参加人数半数にも満たず、ハラハラドキドキでした。しかし、なんと締切日は申し込み受付で大忙し！たちまち定員一杯となり、本当にほっとしました。

何分、地域的取り組みは初めてのことで、とにかく体験してみることが大切と進めていきましたが、「思った以上の反響で、地域が活性化した」と感想が寄せられました。反省会では、「夜遅く、朝早く、イヤ～疲れた。しかし、飲みと会話の楽しい祭りができた。見てもらいたい、経験してもらいたいものがいっぱい見つかった。ほかの行事にも是非呼びたい」との声があがりました。参加者の方からも「有原町のホタル祭りにぜひ来たい。農業の手伝いなどにも呼んでほしい」と感想がよせられました。

「地域ぐるみで力をあわせて、川西のいなかツーリズムも、ここまでこれた！」と、実感した第一歩。本事業を通じて、「交流に必要な農林漁業体験民宿や食品加工施設などについてもう少し詳しく知りたい」、「地域の伝統的工芸、文化、料理などを活用していきたい」などの声も出ています。今後の展望が楽しみになりました。

有原地域をはじめとして、開催場所となった地域の皆様には多大なるご理解・ご協力をいただきました。民泊をお受けいただいた家族の皆様、有原天満宮の役員の方、若連中の方、弁当づくりの方、座禅指導など様々な場面でお世話をいただいた皆様のご支援に改めてお礼申し上げます。

そして何よりも、この地域のはじめの一歩にご意見や感想をはじめ、あたたかい励ましの言葉を寄せてくださったモニター参加者の皆様、本当にありがとうございました！今後とも、川西応援団としてよろしくおねがいします！



都市農村交流モニタリング実行委員会 一同

# しいなかつーリズム はじめの一步 (三次市川西地区)

## 都市農村交流モニタリング事業記録集

3 ……こんなことをしたよ！

アルバム&みんなの感想

12 ……民泊先のお父さん・お母さんより

まちの人の意見をきいてみたい

15 ……まちいなかワークショップをしました

17 ……アンケートできいてみました

21 ……今後の交流にむけて 一まとめー

23 ……資料





# アルバム 報告!!

体験モニターのみなさんの感想と、  
スタッフの感想・反省の記録をもとに、報告します!



10月  
10日<sup>土</sup>

2日間とも、  
晴天にめぐまれました♪

## ■一日目

時間	場所	内容
8:15~	広島駅新幹線口	受付開始
8:30	広島駅~三次へ	バス出発
10:30	ほしはら山のがっこう	オリエンテーション はがまごはんを食べよう <del>自然体験</del> (変更) 自己紹介ゲームなど
15:00	有原集会所	灯ろうづくり体験 おやつ・プロフィールカードづくり
16:00	有原集会所	民家の方と対面式 自己紹介など
17:00	民家へ	民家の方の車で移動 交流 夕食をいっしょに作る~夕食
20:00	神殿入 (こうどなり) 集合場所~神社へ	泊まるお宅の方といっしょに 灯ろうをもって神社まで上がる
20:30	有原天満宮	神事 田舎芝居 おでんや回転焼、お酒などが振舞われます
23:00	民家 泊	風呂・語らい 就寝

## ■二日目

11日<sup>日</sup>

朝	民家	さんぼ・朝食など 交流
10:00	有原集会所	民泊先の方とおわかれ
10:30	①帰海寺 ②有原~白糸の滝 <del>③ほしはら山のがっこう</del> 選択者少数のため、③中止	体験コースにわかれる。
12:30	ほしはら山のがっこう	昼食 有原かあさんのお弁当
13:10		ふりかえり 感想のわかちあい
13:40		閉校式 集合写真
14:00		解散・バス出発
16:00	広島駅新幹線口	到着・最終解散



## 1日目!!

- 参・・・参加者の感想（2日目解散前に記入）より
- ス・・・スタッフの反省（後日記入）より

## オリエンテーション



## はがまごはんづくり

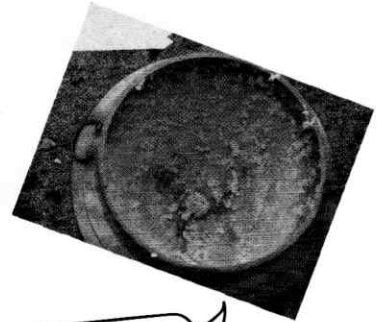


- 参「初めて会う人ばかりで、緊張してたけど、スタッフの方も親切で、いろいろと気づかいをして頂いて、楽しく始まりを迎えられました。」
- 参「スタッフの自己紹介で、所々、役割や川西のことが分かった。わくわくした。危険なことも分かりやすかった。」
- 参「スタッフの方が気さくな感じで雰囲気がよかった。ウェルカムドリンクもうれしかった。」
- ス「全体的に良かった。注意すべきことやお互いを知り合うゲーム、皆さん初対面な点を考えるとうまく構成できたと思う。」



- 参「まき割り体験がとても楽しかった。もう少したくさん割れたら・・・と、よくばりな感想です。ご飯はとてもおいしく、かまのおこげが強く印象に残っています。」
- 参「時間があれば、お米を研いだり焚きつけができればうれしい。」
- 参「野菜を切りながら、ほかの参加者の方とお話できたのでよかった。」
- ス「羽釜は50年ぶりで、うまく炊けるか不安であった。指導する余裕がなかった。」
- ス「羽釜ごはんの火加減が気になったが、思ったより出来が良く、安心した。」

参「三次の食べ物がこんなに美味しいとは！！  
という衝撃を受けた最初の瞬間でした。」



完食！！

民泊先へわたす自己紹介カードづくり  
& おやつの時間 & 対面式！！



参「やきいもおいしかった。街ではできないし。」

参「続々といらっしゃる農家の方の中で、自分がお世話になるご家族はどちらか、とてもドキドキワクワクでした。」

参「プロフィール作りは、会話のきっかけになったので良かったです。」

ス「焼き芋と焼き栗の選択がよく、喜ばれたと思う。」

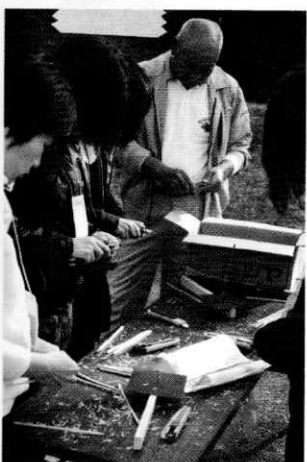
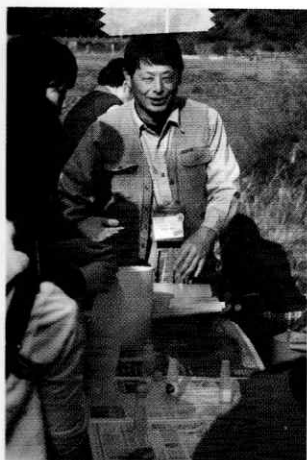
ス「対面式は、果たして誰が・・・というドキドキワクワク感がある場面で、受入農家の笑顔が一番！」



参「焼き栗は、はじめて食べました！」



お祭りで持って歩く「灯ろう」づくり



参「それぞれのらしさを簡単なものにして作れるのがよかった。それを祭りで使えるというのが嬉しかったし、参加できてると実感につながった。

参「作っている時には、この灯ろうがどのように使われるかわかりませんでした（イメージがわきませんでした）。けれど、夜にロウソクを灯して、みんなで連なる光景は、とてもきれいでした。

参「初めての灯ろうづくりでありまして上手にはできませんでしたが、楽しかったです、」

ス「地元の若連の方との交流がなかったので、その場におられたのに残念でした。」

ス「時間オーバーした。あまり手取り足取りで行なわなくてもできる。むしろその方が良い。」



いよいよ民泊

民泊先に到着！！



参「はじめに、よお来てくださったね、ありがとねー」とおばあちゃんに言われたのが感激だった。うらの畑での収穫やイノシシの足跡みつけたり、交流の素材はいっぱいあるな〜と思う。」

家族の一員になりました



参「お客さんじゃなく、娘になってもらうから、手伝いもバリバリするんぞ！」と言われて、自分たちのスタンスが分かって安心してすごすことができました。どうしようか迷わないのはかなり重要だと思います。」

お祭りの日の夕食体験

このあたりでは、ワニを食べるのです。



民泊先「ワニ、おいしいと言っていましたよ。アリゲーターではない、サメだよ、ふかひれの身のほうだと言ったら、驚いていましたけど。」

参「巻き寿司や煮物などの家族の味は、すべてがとてもあたたかくて、本当に美味しかったです。ワニのお刺身なども初めて食べましたが、祭りにはワニという三次の風習を一緒に体験できてとてもよかったです。」

参「お酒も少し入って、ご家族の方とたくさん笑うことができました。とっても楽しい時間を過ごせました。」

参「あたりまえのごはんがぶち美味しかった。食べきれないほど出していただいたので、残ったのがかなり申しわけなかった。」

参「料理の手伝いなどしながらレシピなどを教えてもらえたらもっと嬉しかった。」

参「いたれりつくせりで、ちょっと反省。もう少しいろいろ手伝いをした方がよかったと思う。」



民泊先をご紹介します！！

関徳さんち



堀下さんち



松田さんち



棚多さんち



松島さんち



吉本さんち

黒瀬さんち



島本さんち



三次市有原町で  
8件が民泊受入

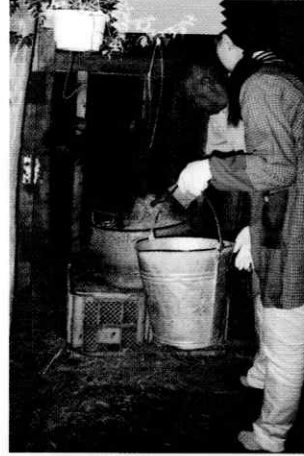


それぞれの家で、いろんな農村体験

10日の夕方から11日の朝にかけて体験しました。



▲お餅つき体験



▲牛飼い体験



▲家の畑で収穫体験



▲「こんにゃくは、この芋からつくるんよ」



▲いもほり体験

参 「家族のみなさんの温かさにつれて、ひさしぶりに田舎の実家に帰ったようでした。もっと民家の方とふれあう時間が長いといいなと思いました。」

参 「実際に農家におじゃましてみて、改めて地域ぐるみの付き合いはとてもいいものだとしみじみ感じました。」

参 「普段見られない野菜とか木とかを案内してもらえたのが、すごく印象に残っています。特に、サトイモとかハブ茶とか見たことがなかったので新鮮でした。」

参 「カキ、枝豆、トマト、カボチャ、ナスなどたくさん栽培されていて、どれも初めての体験で楽しかったです。無農薬だから木からとってすぐに食べれたことと、牛がいたことにビックリと感動をしました。」

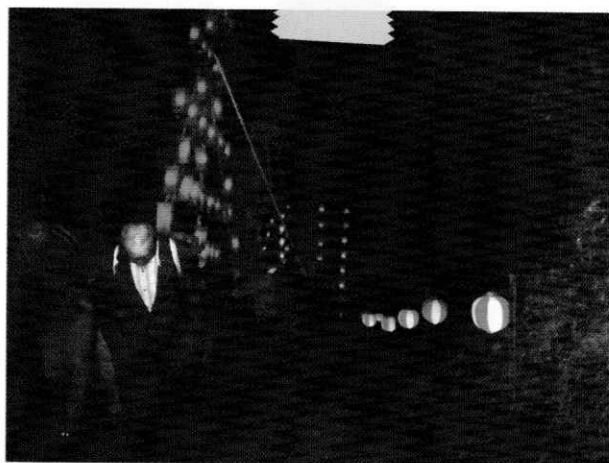
参 「田んぼや畑がたーくさんあるのがとても印象に残りました。」

参 「お米の話などを聞いてぜひお手伝いしたいと思ったので、そういう体験もあっていいな。」

村まつり（秋の例大祭・前夜祭）に参加

・・・有原天満宮にて

祭典行事のあと、田舎芝居。若連中のおもてなし（おでん・二重焼き・酒）。夜中まで前夜祭はもりあがります。



▲神殿入（こうどなり）の、神秘的な灯ろう行列



ス「他の人を迎えるにあたって、祭りの準備も民泊先の方同様、忙しく気分を使った人もいましたが、地元の人達とも会話をされたり、活気が少々違った祭り（前夜祭）でした。」

参「本当に外はまっくらで驚きました。」

参「自分達でつくった灯ろうを持って歩いて神殿入をしてとても幻想的な気分でした。満天の星空が本当に美しかったです。」

参「地元の方のふるまいというものが初めてで、貴重でした。」

参「火にあたりながら、おいしいものをほおぼって、すてきな舞を見れました。木々に囲まれた神社。とてもいい空間だと感じました。」

参「大判焼き体験も初めてだったので、ドキドキしましたが、楽しく体験しました。」

参「本当に地元の人たちの祭りで驚いた。よその人が参加してもいいのかなというイメージがあったが、すんなり受け入れてもらえて、むしろ歓迎されているのが伝わってきてうれしかった。」

参「田舎芝居は子どもが見ても楽しめた。」



## 2日目!!

## 家族みんなで朝ごはん



## ありがとう~~ (涙)



民泊先のお家とおわかれです…

参 「民家の方々にあたたかく迎えていただき、心からのおもてなしに田舎の優しさと豊かさを実感しました。」

参 「町ではあじわえない行事があり、民泊の方もとても親切で、またちがった三次の体験ができました。」

参 「もうすこし、田舎らしさを感じれたらよかった。」

参 「本当に初めて&貴重な体験ばかり。田舎の人柄の良さに感動してばかりでした。絶対お世話になったおうちにまた来たいです。」

ス 「自由時間がもうすこしあれば、ゆっくりできたのと思った。」

民泊先 「もうすこし時間が欲しかった。」

民泊先 「二日目に、神祇を見てもらいたかった。祭りの本番なんで、みこし担ぎの人が足りなくなっている。担ぎ手も募集してもいいんか。」

民泊先 「農家にぜひとも嫁に来たいと言っている参加者もあった。若い人との交流がなかった。」

※民泊先の感想は、別ページをごらんください。

## 農村体験 (選択) ①座禅体験コース ②里山歩きコース

## ① 座禅体験コース



▲お寺に到着しました。ワクワクドキドキ!!



▲講義を聴いて、いよいよ座禅です。

谷 恒禅和尚には、大変お世話になりました！



▲帰海寺（禅寺・三次市海渡町・川西自治区内）  
本尊の薬師如来は広島県重要文化財です！！

## ② 里山歩きコース

有原集会所⇨白糸の滝⇨(別ルート) 有原集会所 (5キロ)



▲秋晴れ！農村の風景は美しい〜！！

自然の中に入れて、違う三次を知ることができました。たくさんの人と歩いて楽しかった。



▲旗返山の、白糸の滝（雌滝・雄滝）までは、ここから300メートル山道を歩きます。

参「由緒ある場所でできたのは貴重な体験だと思う。見晴らしもよくて気持ちよかった。」

参「座禅体験に前々から興味があったので、とてもいい経験になりました。」

参「肩をたたいてもらって、痛そうだったけど、みんな気持ちよかったですって言ってたから、次ときはたたいてもらいたい。」

参「説明がていねいでわかりやすく、心が静かになった。」

ス「時間が足りませんでした。もう30分あれば座禅が充実していたと思う。しかし、久しぶりにゆとり時間、落ち着き時間をこちらでも体験しました。」

ス「座禅を地域で定期的な行事として普及したい。」



▲フィールドビンゴの宝さがし。「見つけた！」

参「フィールドビンゴ（資料参考）のおかげでいつも以上にキョロキョロ見ながら歩いて発見もたくさんあり、あっという間に到着しました。」

参「のんびりと満喫することができました。花や草木の名前を教えていただき良かったです。」

参「長時間歩いたけど、あまり疲れた感じはなかったです。最後の山登りはちょっときつかった。」

参「農村全体の手入れのゆき届いた景観がとにかく素晴らしかったです。山と川と人が一体になった文化的景観だと思いました。」

ス「都会の人は、私達がなにげなく見逃していることや何にも感じないことでも興味を持ったり感動することに気づいた。」

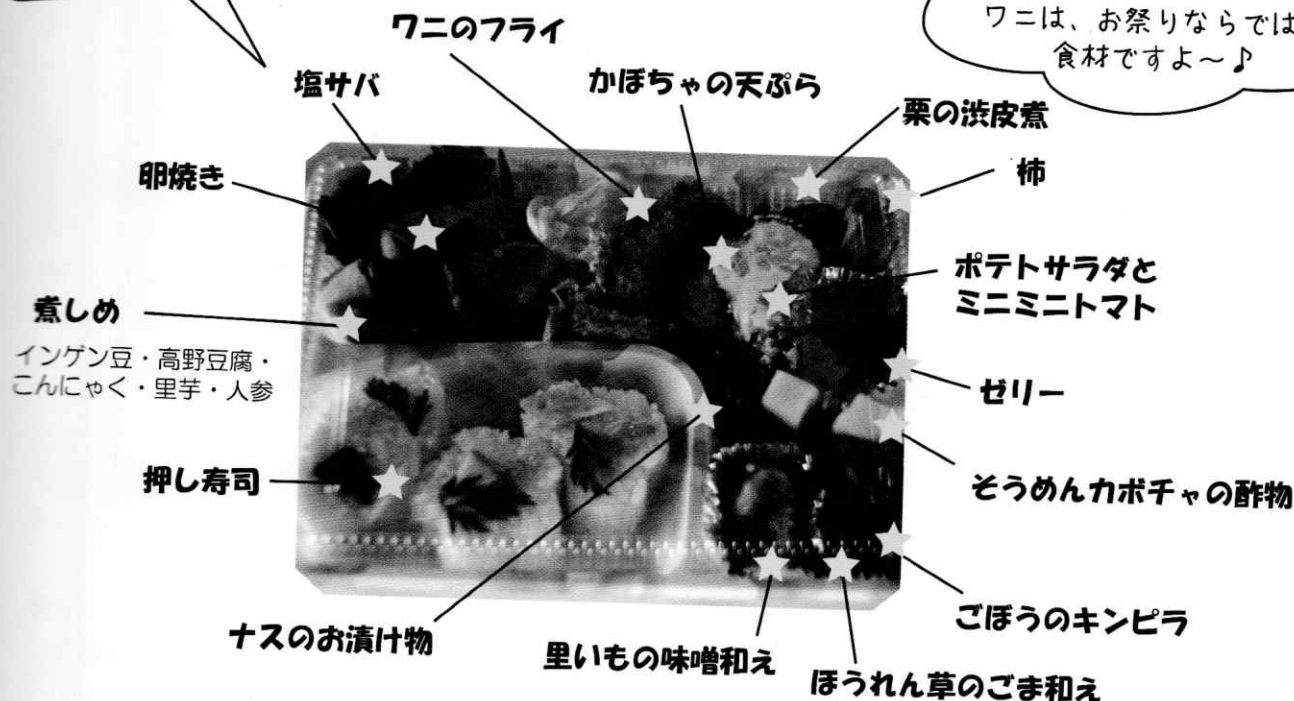
ス「滝の水が少なく、残念だった。」

お昼ごはん (お弁当)

有原かあさんのお弁当

有原町のお母さん9人で、「田舎らしい、旬の新鮮な素材でホッと  
とする手づくりお弁当」を心をこめてつくりました♪

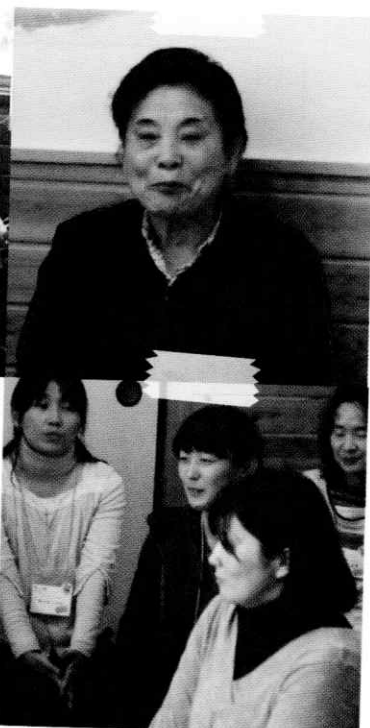
ワニは、お祭りならではの  
食材ですよ〜♪



- 参 「本当においしかったです!!すぐお店が出せます!本当に!」
- 参 「みんなでそろって、いただきますをしたかったです。」
- 参 「心のこもった料理ありがとうございました。」

※モニターアンケートにさらに詳しく・・・。

閉会式・一人ひと言



- 参 「来てよかった。秋の里山の景色も空気も大好きだし、スタッフの方々、他の参加者の方々、民泊でお世話になった家の方々、たくさんの良いご縁に恵まれて幸せー!」
- 参 「ただの旅とは異なり、人と人がふれあい、ある特定の地区の環境で、こんなにゆったりと過ごせるのはめったに体験できないと思います。」
- 参 「地域の人たちのあたたかさで歓迎っぷりがすごくうれしかったです。」
- 参 「とにかく全ての出会いに感謝です。」



記念写真↓ハイ、ポーズ↓↓  
再会をたのしみにしてますよ～。

また会いましょう～!

どこから来ましたか？

広島市13名/呉市8名/安芸郡1名/  
廿日市1名/岩国市2名 (計25名)

誰と申し込みましたか？

ひとり1名/友人と6組(17名) /  
家族2組(7名)

年齢・性別

女性22名/男性3名  
内、子ども(0歳~中学生)4名

ほしはらに訪れたことがある方  
9名 (山のがっこう参加者7名)





# 民泊先のお父さん、お母さんより

感想 & メッセージ

## 島本さんち



### ■お父さんより・・・

来られた方が、まちの人でないような感覚を受けたよ。素直な方々でした。久しぶりに自分の子どもがよけい来たようで、非常にうれしかった。

食べるものも、みな食べてもらって、非常に良かった。

芋を近所からソウケ一杯もらったのを、四人で分けて持って帰ってもらった。よろこんでもらった。葉をつけて大根も持って帰ってもらった。喜んでいただいたと思っておる。

### ■お母さんより・・・

お嫁さんが心配してくれて、家族一同で歓待した。手づくりのジャムや、栗を炊いたりして、作り方も聞いたりしてくれて、何事にも変えられないものを体験させてもらった。お父さんお母さん言うてくれて、うれしかったですよ。

## 松島さんち



### ■お父さんより・・・

家族が三人来られた。一番上のお母さんの趣味を見たら、山登り、酒を飲んだら極楽（笑）と書いてあった。読んだのが、帰った後だったんで、はよう読んでおけばよかった（笑）。今度は飲みましょう。

子どもさんも、祭りで玉串を奉典してもらったら、気持ちよう引き受けてくれて。ありがとう。大変良い経験をされたと思うんですね。

風呂の入る時間が、風邪をひかれちゃいけないと思って、祭りの前というわけにもいかないし、時間帯がなんとかならんかなーと思いました。遅くなって申しわけなかった。

### ■お母さんより・・・

お父さんとコンニャク芋を見てもらうて、二年後、三年後というのを見てもらった。掘られましたし、どう大きくなるか、書いたのを見てもらった。よろこんでもらえたでしょうか。

構えちゃいけないといわれても構えてしまった。おもてなしは、肩張りすぎて少々疲れましたが、こういうグループに入っている経験をさせてもらった。嫁が手伝ってくれてよかった。来てくれてありがとう。

## 関徳さんち



### ■お父さん、お母さんより・・・

とにかく、家がきれいになった。時期がよかった。正月の大掃除が楽になった（笑）。そんなに構えてはないが、要所要所は清潔げにしまとめておいたんよ。

男の方は東京出身で、田舎ぐらしにすごい興味ある。「いいですねー、いいですねー、子どもの育つ環境にとっても良い」と言っておられた。長男息子が帰っておったので、六年間小学校に長距離歩いて通った話とかできて、よかった。

女の子も、お祭りの日じゃし、美和桜を出したら、「こんな酒が三次でもできるんですか？おいしい！」と盛り上がった。とうとう、2時まで飲んだ（笑）。朝は、起きてから「なにしましょうか？」と言ってくれた。片付けも彼女らが全部してくれた。「お母さん、座っとなって」言われて、座らせてもらって。対面式だから、おしゃべりしながら。よかったなーと思って。

一番喜んだのは、お父さんと思う。酒飲むんじゃし、テンション上がってねえ。楽しゅう過ごさせてもらいました。

柿の葉を持って帰られて。それが、きれいに色づいておったんですよ。「もらってもいいですかー」と言っって。柿の葉を、盛り付けに使っっておったもので。町ではないですからねえ。

実際はちと疲れましたが、悪いくたびれいうんじゃなくて、いい感じのくたびれ、いうんか。よかったんじゃないかなーと思いました。たのしかったですよ。

## 松田さんち



### ■お母さんより・・・

小さい赤ちゃんと五人で来られて、親戚が一家族で来られたという感じ。久しぶりに赤ちゃんの声を聞いて、私も、一晩楽しみました。「人が来てならええのう、きれいになる」とお父さんに言われました。

ワニは初めて食べると言われ、子どもさんも「おいしい」と言われた。

電気ごたつを出して寝してあげた。四つの方向を向いて布団を敷いて。私らは昔からしよることですけど、「こういうのは初めて」と言われて喜ばれました。

ごはんを食べるところに、うちは炭の掘りごたつがあるので、喜んでくれた。

祭りの田舎芝居を見て、子どもさんがすごく感激して、最後には大声で泣いた。

お風呂は、久しぶりに赤ちゃんを上げてあげてね。お母さんから受けてタオルでふいてあげて。あれが、私はよかったです。

朝10時に集合場所に連れてくるのが大変だった。芋も取らせてあげたいし、栗も取らせたいし、棚多さんのお宅に牛を見に行かせてあげたいし。もうちょっと時間が欲しいと言っておられた。お父さんお母さんも、興味がおありだったし。朝の忙しさはちょっと考えたほうがよかったです。

はじめての民泊で、楽しませていただきました。

### ■お父さんより・・・

私は、お母さんが全部言ってくれました(笑)。よくおいでくださいました。またおいでてください。

## 堀下さんち



来てくれた三名は子どもと同年代。ちょうど娘の子がおりませんので、娘ができたような感じ。子どもが友だち連れてきて泊まったような感じで、気楽にやらせてもらいました。女房も勤めておりますんで。

食べ物に関しましては、ワニ、「おいしい」言っていましたね。「アリゲーターではない、サメだよ、ふかひれの身のほうだ」といったら、驚いていました。

来てもらってすぐに祭り餅をついて、機械ですけど。いっしょに揉まして。はで干したもち米じゃと言っ

てあげたら、喜んでくれました。風呂を薪でたいたら、それも感激しておったようなことで。ナスビを焚き口で焼いて、皮を熱い熱いながら、むしりました。

女の子三人なんで、トイレ一つにしても、結構長い。出掛けに時間がかかる(笑)。

わし、5時には起きて新聞配達回りよって、「行く」というので一緒に回った。いつもは四十分のところ、1時間の先かかったけど、よかった。牛を見せてもらったり、初めは暗いんだが、だんだん明るくなっていくんで、霧がさーっと動いていくのも見ました。犬も一緒に歩いて。夏にはホテルが見れるといったら、「見たいみたい」と言っておった。

帰るとすぐファックスを送ってくれた。「ぜひまた来たい」と書いてあった。うれしいですね。

楽しかったですよ!! ホテル祭りに来てくれたらと思います。

## メモ



●お客さんとして構えやおむかえするよりも、家族の一員としておむかえ、田舎らしい仕事などは手伝ってもらったりしながら交流すると喜ばれるようだ。

●今回、布団リースをしたのが、いろんな面でよかった。

●大変なこともあるが、来られた方に喜んでもらえる、元気が出る。

●交流事業は、力をだしあう機会になり、地域が盛り上がる。活性化につながる。

●帰りに畑でできたものなどをお土産でわたす風習があるが、公共交通機関や自転車などで帰ることや、少人数で暮らしていることなどをふまえて、思い出をこめるつもりで・・・。



## 黒瀬さんち



## ■お母さんより・・・

祭りの担当が、饅頭だったんですが、手伝ってもらってよかったのか悪かったのか。ずっと焼いてくれたんで。それが心配です。

不安だったんですが、今日、三人の方から手紙が来ました。うれしかったって。ほっとしました。うれしかったです。

## ■お父さんより・・・

若い子三人来て、仕度が長い。朝もなかなか下りてこんし、まあ、それは、リラックスしてくれたのかな？と(笑)。

翌日、昼ごろまでおってほしかった。

おばあさんも、活性化という面では、元気が出とった。一番はりきとったかな。反動が必ずあるが、生き生きとりました。

あかねちゃん(小6)も、お姉ちゃんができて、一緒について歩いとった。芋を掘るんも。

里芋を洗うんが、昔の道具で洗ったんで、面白がっておりました。

楽しかったですよ。またこういう機会があったら！と思いました。

## 棚多さんち



## ■お母さんより・・・

一番若いのが来てもらって。23歳、24歳の方。農家に嫁ぎたい希望でした。すごい楽しい人で。

畑では枝豆、トマトを残しといて、食べてもらって。おいしい言ってくれてうれしかった。

食べるのも、普段どおり炊事場で食べて。オクラの花も朝食食べてもらったりして。

コタツに電気入れて、うちも寝てもらいました。

田植えとか、秋(稲刈り)とか、来たい言われて、

牛見てびっくりされて、とってもよかったです。

女の子の孫が来ておったんですが、小5の次女から「たのしかった、ありがとう」とメールがきました。

## ■お父さんより・・・

集会所がどうして出来たんか、みんなにも話したかった。元々農協の発電所だったんです。電気のない生活を、隣町では昭和32年までしとった。

そのころ、有原の若いもんが寄ってみりゃあ、同じ町なのに相手がわからん。有原に住んどるもの同士が知らんようなことではいけんといって、(公共的なまり場があるということで、)発電所の跡地にたまり場の集会所ができた。それから神殿入を復活させて、「樽入れ」も復活させたんよ。

来てくれちゃった女の子には、農業の体験をせにゃあならんと、いつもなら6時からやっておるのを、6時45分から牛を飼う体験をわしのすることを一緒にしよう。喜んでおったですよ。

花オクラの収穫をして、朝取りのなすびを生でかじって食べさせた。こだわりのポン酢で。おいしい言っておりましたよ。

農家にぜひとも嫁に来たいと言っていた。独身の男の人がいる家がぜひ受けてほしかった。

喜んでくれちゃって、よかった。

## 吉本さんち



うちは、三人家族というか、犬と祖母と暮らしておるんで、民泊には合っていないんじゃないかと渋っていたんですが、楽しかった。実際は、掃除も一人で頑張ってやって、寝込んでしまいそうだったけれど。



おばあさんが、「祭りの日は、昔は生ダコを一匹買ってしておったから、生ダコをそのままゆでたのをやってあげたい」と言ったので、いっぱい探してまわった。すごい喜んで食べてもら

えた。お寿司作りなどは一緒に作ってもらった。

おばあさんは、孫と話が出来たみたいで、「嫁に來なさい」と説教したり、帰りには、「おむすびを作ってあげようか?」と言って、20個も作って。10個ずつ持って帰った(笑)。非日常で、家が活性化しました。ありがとうございました。

# 都市農村交流ワークショップを行ないました

「村まつりと民泊」の一カ月後・・・

スタッフ



民泊先



まちの人の意見を  
直接聞いてみたい

まちの人の感覚と、  
いなかに住んでる人の感覚は  
ずいぶん違いがあるんじゃないか

たとえば、  
ポットトイレでも  
いいかどうかとかも  
聞いてみにゃ～わからん

## ワークショップで聞いてみよう!

詳細は、「まちの人の意見を聞いてみたい・アンケート集計」

- 日時：11月8日（日）9：40～12：50
- 場所：広島まちづくり市民交流プラザ ギャラリーB（広島市中区袋町）
- 参加者：モニタリング事業モニターおよび実行委員会メンバー（4名）
- スケジュール・内容：
  - 9：40 ----- 受付
  - 10：00 ----- 写真スライド（記録写真データはCD-Rでお渡しします。）
  - 10：30 ----- ワークショップ
    1. ふりかえり（参加者・民泊先・スタッフ）の集計を報告
    2. フリーディスカッション  
モニタリング事業への参加体験を基に、  
まちがいなか いっしょに  
これからの「地域」「グリーンツーリズム」について、  
ざっくばらんに語り合おう。
    3. 「みなさんに聞いてみたいこと（BY実行委員会）」に回答
  - 12：00 ----- 昼食（お弁当を準備しています）・交流会
  - 12：50 ----- 解散

# ワークショップ

モニターとのフリートークで・・・



田舎で暮らしを試みたいって、本当に思うんですけど、仕事があるかどうかが一番不安ですよね。



そうそう！私、今回、婚活系のイベントの趣旨もあるのかな～って期待してきましたんですけど、若い男性が全然いなくて、趣旨が違ったんですけど、田舎で結婚したいなって思うんですけど、家にずっといようっていうのはなくて、仕事もしながらって思うんですけど～。



福永自治会館長 弁

都市と農村の交流は、わたらの里づくりを考える手段であり、里のよさを感じる手段であり、里の自信を得るためにやっておる。  
 一方でまちに住む人にとっても、まちがどうあるべきなのか考える機会になり、まちづくりに活かすことができる。  
 東方で、地域づくりを考えていく手段になる。  
 田舎体験ツアーじゃなくて、都市農村交流というのは、そういうことだ。

# キーワード

フリー  
ディスカッション

あたたかい出会い・自然・リラックス・いやし・環境教育・食と農のつながり・安心安全な食材・ふるさと・生き生きとした瞳を持つ子どもたちを育てる・生きる力・火のある暮らし・家族のあたたかさ・地域のつながり・時間空間仲間（三間）・出会い（人・文化・歴史・もの等）・農ある暮らし・半自給自足・社会貢献のできる機会・援農や森づくりボランティア・田舎暮らしへの憧れ・縁側でお茶・古民家・田園風景・牛が飼いたい・夫婦で農業・・・



私は、縁側でお茶したら、近所の人が見つめてきて、おしゃべりとかいう暮らしにあこがれます。半自給自足って感じで～。



わかる～！田舎に嫁いで畑とかしたいんですよ。川西の空の広さはいいなあって。不安は田舎の習慣に慣れられるか・・・受け入れてもらえるか・・・。



これからの地域づくりは、win & win  
 「地域（いなか）× 地域（まち）づくり」

by ほしはら

まちの人の意見

# まちの人の意見をきいてみたい!

## アンケートしました。

ワークショップにて

「農村交流に興味のある都市部の人たちは、田舎のことをどう感じておるんかのう?」「どんな体験がしたいんか?」などの実行委員会の声から、モニターのみなさんにワークショップ(開催後)でアンケート記入いただきました。

### 1. 【田舎のイメージについて】(自由記述)

#### a. 田舎のよさはどんなところ?

自然が身近にある	6
人の温かさ 人柄	6
空気のよさ	4
ゆっくり時間が流れている	4
風景の美しさ・気持ちのよさ	5
行事・風習を大切にしている	3
心がいやされる	2
人のつながり	2
星がきれい	2
個人の主体的な関わりが活かせる	2
農ある暮らし	2
四季を感じられる	1
水	1
自然と生きる感覚	1
何かを生み出すことができる素材がある	1
景色があまり動かない	1
たき火ができる	1
縁側	1
昔ながらの生活の知恵	1
健康ですごせる	1
アットホーム	1
食べ物がおいしい	1

#### b. 田舎のマイナスイメージ

交通手段が不便 車がないと住めない	4
閉鎖的 保守的 排他的	4
人間関係が濃密すぎる 面倒	2
情報が入ってきにくい 刺激が少ない	2
全てを自分達でやらなければならない	2
ない	1
若い人が少ない	1
知りあいがいないと行けない・住めない	1
役職が多い	1
虫	1
携帯電話の電波がつながりにくい	1
駅や学校が遠い	1
三回は寒い	1
仕事(就職)が少ない	1

#### よさ・・・ モニター

・まわりの木々、草花、空、風・・・自然を感じる気持ちのよさ。必ず人とコミュニケーションがあったり、都会仕様にどこか緊張している心がほどこけて、自分もみんな(人・自然)の一部であることを感じてホッとする。

・都会は全マ目的を持ってつくられていて、無目的なモノ、場所がありません。子どもがフラフラするところがない。田舎の最大のよさは、かかわり方次第で何かになる、自らかかわりかけなければ何もないとこかと思えます。

### 2. 【田舎暮らしについて】(自由記述)

#### a. 田舎に住みたいか

強く住みたいと感じている	4
住みたいと思うことがある	9
若い間は住みたい	1
老後に住みたい	1
住むより訪れるところ	1
住みたくない	0

#### マイナスイメージ・・・ モニター

・人との関わりが深すぎて、多少面倒くさい感じ。団体行動が苦手だと中に入っていくのが難しそう。

・私は田舎育ち。住んでいるときにはわざわざわしいと思っていた近い人間関係や不便さも今となっては逆に都会的な感覚のほうがおかしいんじゃないか?と思うので特にマイナスイメージはありません。

b. 田舎暮らしをするとしたら、どんな暮らしがしたいか

近所の方との交流で田舎ぐらしを学びたい	4
のんびり暮らしたい	3
農ある暮らし・手づくりの暮らし	3
自給的な暮らし	3
四季を感じて生活をしたい	2
都会と行き来しながら暮らしたい	2
理解しあえる家族がいればいい	1
縁側や土間のある暮らし	1
相談できる人がいれば助かる	1
子育てを田舎の環境でしたい	1
不便なのがいい	1

c. 田舎暮らしに対する不安

仕事があるか、収入があるか心配	7
地域の間人関係の中に入れるか不安	7
田舎ぐらしは大変なので老後は難しい	2
田舎ぐらしを知らないので不安	2
農作物がうまつくくれるか不安	2
現在の友人と交流できなくなりそう	1
都会では感じられない自然のこわさ	1



自分で野菜などを作って、縁側や土間のある家に住んで・・・ほかに何か手づくりしながら暮らしてみたいです（一人で妄想します）。不安なことは、田舎独特の密な人付き合いをしたことがないので、考えが

3. 【田舎体験事業について】（自由記述）

a. どんな体験に参加したいか

四季をとおして体験したい	7
ほたる がみたい	3
神楽が見たい	2
田舎料理をその土地の旬の収穫物で	2
おじいさんおばあさんの生活の知恵	2
自然体験	2
農業体験	1
秋の祭りに参加	1
準備する段階から体験したい	1
農業の勉強	1
年間とおして農作業を手伝う	1
交流をとおして色々教えてもらいたい	1

（具体案）

- 自然系・・・ たき火・魚とり・川遊び・星をじっくり見たい
- 農業系・・・ 米作り・稲刈り・収穫・植え付け・野菜づくり
- 暮らし系・・・ みそ作り・保存食・山の手入れ

b. 交通手段について

JRまで迎えにきてほしい(車がない)	7
自家用車で	6
JRから公共バスに乗って行ければよい	3

※JR三次駅←→川西地区への公共バス便は、日曜日はありません。タクシーを利用すると、3000円～5000円かかります。

車を持っていたら行けるけれど、JRなど公共交通機関的には行きにくい場所だと思う。できれば、JRまでのお迎えは必要。



民泊先のお母さんは料理が本当、上手で、田舎料理をならってみたいと思いました。

おじいさん、おばあさん世代の古い生活の知恵を学びたい。保存食のつくり方とか、山の手入れの仕方とか。





#### 4. 【民泊について】(自由記述)

a. 今後も民泊に行きたいか

個人の旅で、民泊に行きたい	10
イベントの機会に民泊したい	3
農繁期の手伝いで民泊に行ってみよう	2



お風呂の時間、起きる時間や朝食の時間は希望を相談したらよかった

b. 農作業の手伝いをするような民泊をどう思うか

作業もやってみたい	全員
作業はやりたくない	0



お仕事手伝い系・まご気分系・本気でのんびり系などやりたいことを聞いて受け入れるのもいいのではないかと

その家の親戚感覚でどんどん手伝いを言ってみてほしい。お客さん感覚よりもそのほうがいい。手伝ったほうが民泊先の方と家族になれた気がする。

将来田舎暮らしをするための勉強をさせてもらいたい。

c. 上下水道が完備されていない地区だが、水洗トイレでなくてもいいか。

水洗トイレでなくてもよい	全員
人それぞれなので事前に聞くといい	1
水洗でなくては困る	0



むしろ、新鮮でたのしいです！生理中のときはどうしようかと思いました。

#### 5. 【田舎の農産物について】(自由記述)

a. 直売野菜の購入についての意識

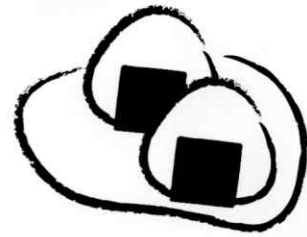
新鮮なものがよい	4
味がおいしければ形にこだわらない	3
生産の場を触れたり感じたりしたい	2
葉付きの大根は葉が食べられるので嬉しい	1
料理の方法がわからないので、レシピや知恵袋などがついてるといい	1
無農薬がいい	1
虫つきでもいい	1
中から虫が出てきたらひいてしまう	1
大量には消費できないので食べられるだけ	1
生産者を知っていたらどんなものでも嬉しい	1
スーパーで穴あきのナスは買わないが、道の駅や畑収穫体験のものなら買う	1





b. 米購入についての意識 (自由記述)

5キロで購入	3
3～5キロ	2
いつもの米を10～30キロで配達してもら	2
安いときに 10キロで購入	1
3キロがちょうどいい 5キロは重い	1



米粉のパンやお菓子がうれしい

定期的にやきごめが買えたら (民泊でおいしかった)

玄米がブームのようだ (特に女性に)

まちの人の意見

6. 【受入地域のみなさんからの質問と回答】  
(自由記述)

1) 寒くなかったですか？

- ・寒さは想像以上でした。でも服を貸してもらえたのでよかったです。
- ・事前に寒いということを教えていただければいい。
- ・都市部とは違う寒さを味わうのもまた楽しい。
- ・夜はこたつで寝たのでとてもあたたかでした。
- ・(祭りで、野外で見た) 芝居は時間がたつごとに寒さが増して芝居に集中できないこともあった。座布団やひざ掛けがあればよかったです。

2) 前夜祭の翌日、本番にも参加してもらいたかったが、どうか？

- (今回は、前夜祭だけに参加した。祭りの本番では、神祇・獅子舞・巫女の舞い・お神輿がある。)
- ・神祇もぜひ見てみたいと思いました。
  - ・巫女の舞など見たことがないので、機会があれば見てみたい。
  - ・見るのもよいが、参加させていただけるとなおよい。

3) 神輿をかつぐものが地域に少なくなっているが、かつぎ手になってもらえるか？

- ・太鼓もたたいてみたい。
- ・都会ではなかなか体験できないので、良い。
- ・とてもいい。もっと地元のことや地元の人と接点がもてると思う。
- ・募集にあたって、当日かつぐだけではなじみもないので、何回か参加がいるだろう。
- ・地元の人じゃなくてもいいの？
- ・実際にかついだことがないので、予想ができない。
- ・大三島では、島外から若い人を募集しているそうだ。
- ・男性向きの募集になりますか？

4) どんなお土産を喜んでもらえますか？

- (今回は、その家々の畑や山で取れるものを、家ごとに小袋に入る程度に準備した)
- ・家ごとの特色が出るものが嬉しい。思い出がつまっているから。
  - ・お土産のことまで考えてくださっていることだけでも嬉しい。
  - ・里山歩きのとときに落ちていた木の実、稲など、なんでもすてきな土産でした。
  - ・今回は、もらい過ぎのような気がして、少し申し訳ない気がした。
  - ・電車や自転車で行ってだったので、家まで持って帰るのが正直大変でした。
  - ・畑で自分達で採ったものや、一緒に作ったもの。
  - ・おすすめの調理のしかたも教えてもらったので、そのとおりに調理しました。
  - ・さつまいも、栗、柿の葉、家をついたお餅、お米

4) お弁当はどうだったか？

- (受入地域でお弁当作りの研究を行い、地産地消のお弁当を作った)
- ・前日に民泊先で初めていただいたワニの刺身が、唐揚げになっていて、おいしかった。(7名)
  - ・手づくりでホッと安心できるお弁当だった。(多数)
  - ・量が多く、食べ切れなくて申し訳なかった。(3名)
  - ・量はちょうどよかった。(2名)
  - ・押し寿司がきれいで、見た目もよかった。
  - ・押し寿司の言われがあったら知りたい。
  - ・里芋のヌタが初めてで美味しかった。
  - ・野菜の煮物がおいしかった。(3名)
  - ・栗の渋皮煮がうっとりするくらい美味しかった。
  - ・買うお弁当は野菜がほとんど入っていないが、野菜がたっぷり入っていてうれしかった。
  - ・見た目にもすごくきれいだった。(多数)

# 今後の交流にむけて

## —まとめ—

### 事前準備・片付け・報告

#### ■草刈・掃除の計画的な準備をしよう。

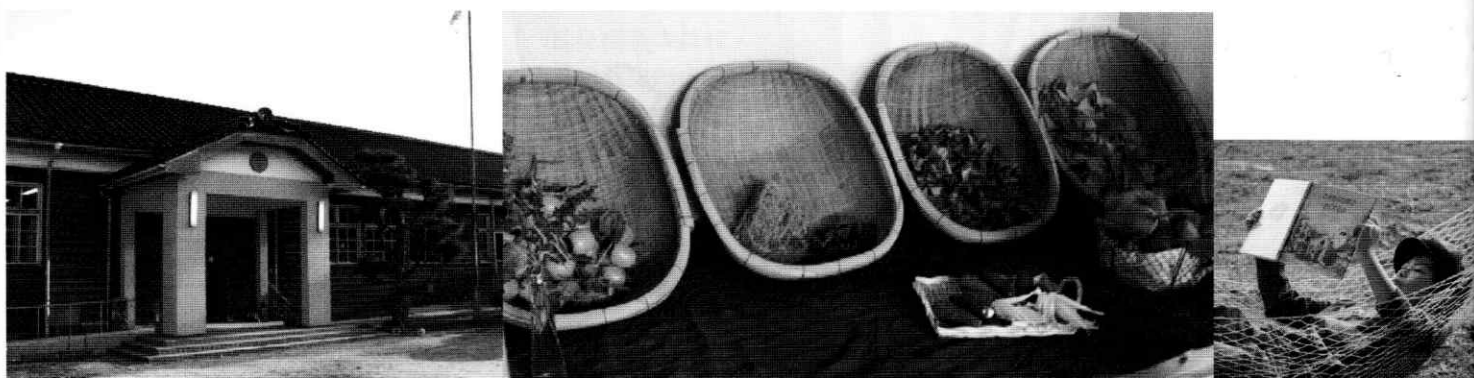
(今回は、気づいた方の善意に支えられた。事前に打ち合わせをしていないウォーキングロードの草刈、寺の掃除など。山のがっこうの草刈やトイレ・厨房掃除についてはたまたま地区の環境整備日であったので助かった。)

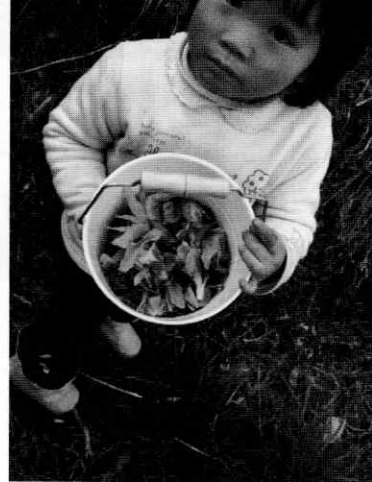
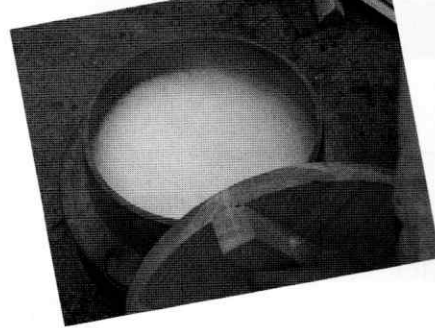
#### ■地域との協議（計画・相談・報告）をしよう。

事業に関わる地域団体に対して、当日のスケジュール・事後報告書などをもって前後の情報交換を密にする事務局の動きが、継続的な活動にするためには特に必要。(今回は民泊先との協議は行なわれたが、宮の総代、地域の若連中、お弁当スタッフとの打ち合わせや報告が不十分だった。)

### 交流当日

1. **居心地のよさをつくろう** (参加側・受け入れ側、お互いに)  
気をつかいすぎない/居場所をつくる/スケジュールを伝える など
2. **ありのままを楽しんでいただくため、自分たち自身が、いなか暮らしを楽しもう**  
郷土料理や畑仕事、山菜摘み、竹細工、川べりの犬の散歩など、田舎ならではの暮らしの楽しみを普段から感じ、身につけよう
3. **ゆとりのある時間設定にしよう**  
交流が目的。会話をしたりのんびりしたりできる時間が持てるようにしよう
4. **無理をしすぎないで、たのしめる範囲を考えよう**  
たのしく継続できるやりかたを考えよう。
5. **出合いを楽しもう**  
一期一会。出合いに感謝。





## 民泊の心構え

### 一. 来る前に

我が家では、どんな体験ができるか。家族で考えておこう。  
隣の家に協力いただくのもいい。(今回も、協力しあった) ※体験例

### 二. 出会い頭

「よお来んさった。」と普段着・方言で出迎えよう。  
気取らず、ありのままの姿で、笑顔でお迎えしよう。

### 三. 居場所をつくる

はじめに家族やペット、田畑やトイレ・風呂、泊まる部屋の位置を紹介し、  
一緒にテーブルを囲んでお茶しよう。

### 四. 居心地をつくる

どんなふうに過ごしたいか、交流者とはじめに相談して、  
一緒にゆるやかなスケジュールを決めよう。

### 五. 家族が過ごしやすくするために

我が家の夕飯、風呂、就寝、朝食の時間を伝えておこう。

### 六. おいしい思い出はいい思い出

喜ばれるメニューのヒントは、畑の新鮮野菜や我が家の米、地域特産の食材が  
八割ほどを占める自給的な野菜中心料理。料理体験は交流のベストメニュー。

### 七. 笑顔とおしゃべりの食卓

家族と交流者みんなそろって、会話をたのしみながら、ゆっくり食べよう

### 八. ちょっと、手伝って～

家事を手伝ってもらおう。ぐっと距離が近くなる。

#### ※民泊・交流の体験例

【畑体験】畑の収穫や草取りの体験～収穫したものをいただく

【田んぼ体験】

【山の体験】焚き木ひろい・薪割り・しいたけ

【肥料づくり】落ち葉あつめ

【お茶づくり】笹茶・野草茶ふくめて

【木工・竹工作】おもちゃ・イス・飾り棚・・・

【もちつき】 【散歩】 【むかしばなし】

【自給的な料理体験】 【縁側体験】縁側でお茶 縁側でスイカ

【田舎のおやつ】ほとぎ・干し柿・干し芋・ぜんざい・・・

【新聞配達】 【霧の海を見に行く】 【川や池で魚釣り】

【絵手紙をかく】 【たき火】 【たき火料理】

などなど・・・

# 三次市まちづくり推進支援事業で実施しました！！

## <計画書の概要>

事業の名まえ・・・ 都市農村交流モニタリング事業  
(アクションプラン作りと実践)

実施場所・・・・・・ 川西地区一円(主に上田町・有原町)

主体となる団体・・・ 都市農村モニタリング事業 実行委員会  
～～主管は、川西自治連合会

地域の現状・・・・・・ 「川西地区」は、中山間地の農村地帯で、農業が主要となる産業ですが、一戸あたりの耕作面積は少なく、住民のほとんどは、市街地などへの通勤兼業農家です。近年になって、観光農園・農事組合法人といった新しい農業の形態もすすんできました。

人口は、現在1274人(1955年は約3500人)で、大幅に減少していています。少子高齢化も進んでいます。

2006年4月、『まめな川西いつわの里づくりビジョン』を川西地域全体でつくりました。そのビジョンを基にして、魅力ある地域づくりなどの取り組みを具体的にはじめ、1ターンやUターン者もみられ、減少幅もやや下げ止まり傾向が出てきました。

地域の課題・・・・・・

『まめな川西里づくりビジョン』で、わたしたちは、地域づくり基本目標に、「いつわで創る 田舎暮らしが楽しい里」を目指すことを掲げました。そして、5つの活動項目にわけて、具体的な将来像をまとめました。

その中の、第5「実りが輝く 田舎暮らし豊穡の里づくり」では、

- ①さまざまな人々の 定住につながる 稼ぎの場づくり
  - ②ふるさとの自然を活用した 都市との交流の場づくり
- をめざしています。

これまで、上記のビジョン実現にむけて、先進地視察、里づくり講演会などさまざまな活動をしてきました。

特に、「ほしはら山のがっこう(上田町)」では、廃校を改修(国と市の事業)して都市農村交流を行なっていますが、地域内外からより多くの方が活用し、事業の効果をさらに高めていくことが課題になっています。

また、グリーンツーリズム(農村体験や自然体験)をすすめて、地域ならではの資源を活用した「産業おこし」や「誇りのある田舎ぐらしの創造」をしていこうと調査や研修会などの活動をはじめっていますが、地域まるごとで「民泊・ホームステイ」などの都市農村交流プランを、具体的に実践し、川西地区全体へ輪をひろげていくことが課題となっています。

都市農村交流を、川西地域まるごとでモデル的にやってみよう！！

モニタリング事業の目的・・・・・・・・・・ ●都市農村交流事業を実際に経験して、グリーンツーリズムの取り組みを川西地区全体の取り組みにひろげよう。

●交流事業をするにあたって、なにが必要なのかを、実践を通して調査・研究し、今後、「子ども農山漁村交流プロジェクト（三次市が指定を受けている）事業」などに川西地区全体がこたえられる態勢づくりに活かそう。

内容・・・・・・・・・・ ワーキングスタッフを公募する。

交流プログラム（川西里づくり委員会が2008年にワークショップで作成）を基本に、具体的に実施にあたるスタッフを募集する。



ワーキングスタッフが中心になって、

- ①交流プログラムのアクションプランの作成
  - ②交流事業の実施
- をする。

参加者) 25名。

モニターとして参加レポートを提出。今後の都市農村交流に活かす。

日程・場所) 有原天満宮の秋季例大祭の前夜祭：神殿入の日（10月第二土曜日）

・・・地域の多くの人との交流が望める／伝統文化に触れる／田舎の特色が出せる

交流中心施設) ほしはら山のがっこう

プログラム) ※具体的には、アクションプラン作りで行なう

主な内容

- 座禅体験など田舎らしいイベント
- ホームステイ（民泊・田舎ぐらし体験）
- 前夜祭の体験（神楽・神殿入・地元による屋台など）
- レポートの提出



レポートをまとめて、今後の取り組みの課題・方向性の集約をし、川西里づくり委員会に報告する。

（ 川西里づくり委員会とは

「まめな川西いつわの里づくりビジョン」の推進を図る組織です。

2006年6月より川西自治会館内に設置されました。



募集ちらし

祭りと人情にふれあう  
モニター募集

# 村まつりと民泊

歴史と伝統が  
息づいている

田舎のぬくもりを体感

1泊2日の体験!

広島・三次市の南端(旧川西村)

田舎暮らしが楽しい里

まめな川西  
いつわの里



## 都市農村交流モニタリング事業

「村まつりと民泊1泊2日の体験」のプログラムは、若い女性を対象に企画しました。「田舎のすぐれた自然・生活文化・教育環境の継続発展とグリーン・ツーリズムの推進をめざす」ためのモニタリングです。

- 実施日 / 平成21年 10月10日(土)▶11日(日)
  - 募集対象 女性25名(親子可)
  - 募集締切 9月17日必着
  - ワークショップ(参加必須) 11月8日(日)
- 集合 / 広島駅8:30・三次駅10:00または現地10:30※送迎バスを運行します。
- 解散 / 現地14:00・三次駅14:30・広島駅16:00
- 参加費 / 原則無料(一部食事代3,000円をご負担ください)  
体験レポートの提出協力が必須条件となります。

主催/都市農村交流モニタリング実行委員会(主管:川西自治連合会)  
川西自治会館 〒728-0621 広島県三次市三若町2551-1 TEL FAX (0824)69-2526  
共催/有原町内会・ほしはら山のがっこう 後援/三次市



# 村まつりと民泊体験—1泊2日のプログラム

**1日目**  
10月10日(土)



- 開会式
- オリエンテーション
- はがまで新米を炊こう
- 民泊先の方とご対面
- 村祭りに参加  
(有原天満宮の神殿入ほか)
- 民泊 おやすみなさい

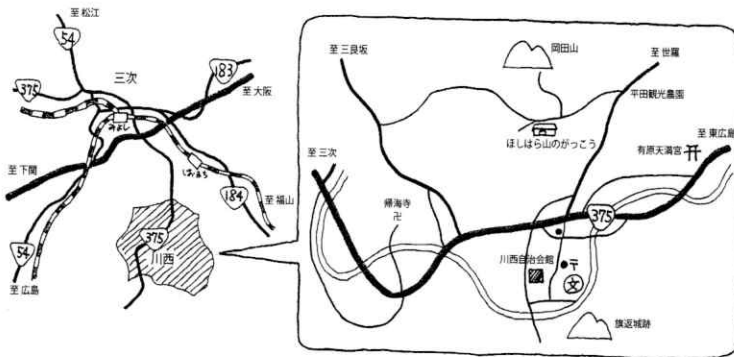
「神殿入」…各地域・家ごとに灯明を持って太鼓を打ち鳴らし、神社へ参拝する伝統行事

**2日目**  
10月11日(日)

- 民泊先で朝食
- 農村体験  
(3グループに分かれて)
- ① 座禅体験(帰海寺)
- ② 里山歩き
- ③ 木・竹のクラフト
- 農村の味の昼食
- 閉会式



11月8日(日) ワークショップ「こんな農村体験がしたい」参加(広島市内で開催)



**まめな川西  
いつわの里**  
川西自治会館

〒728-0621  
広島県三次市三若町2551-1  
Tel. Fax 0824-69-2526



**ほしはら山のかごころ**

〒728-0624  
広島県三次市上田町388  
Tel. Fax 0824-69-2888



**【参加申込み】** (FAX.0824-69-2888 mail.hoshihara@twoone.net)

締め切りは、9月17日(木)。当実行委員会にて動機などを元に審査し、参加決定者には9月末までに連絡いたします。不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

本人

氏名	_____
住所	_____
電話番号	_____
生年月日	_____

友人・家族

氏名	_____
生年月日	_____
氏名	_____
生年月日	_____

“村まつりと民泊体験”の参加動機

-----  
-----  
-----

個人情報については、本事業においてのみ使用させていただきます。

## 参加の動機

・前から三次に興味があり、地元の方と一緒にいろいろ体験させてもらえるのはとても楽しそうだったからです。田舎、自然もとても好きなので、自分も何かを感じて発展のために協力できたらいいと思いました。(広島市)

・農村に泊まったり、田舎の自然に興味があったので。(広島市)

・三次は子供がキャンプなどでお世話になり、たくさんの人・自然・地域の人たちに出会い、将来は三次に住みたい、お母さんも一緒に住むんと子供から話された翌日、参加募集が届きました。とてもタイミングよく民泊体験でびっくりしましたが、いい機会だと思い、申し込みました。民泊の方との出会いや体験したことのない村ま

り・農村体験などプログラムは秋を感じる内容でとても楽しみでワクワクします。(呉市)

・秋の三次の味覚が一番おいしい時に食べられる機会は滅多にないと思ったことと、村まつりという未体験のことに興味があったから。(岩国市)

・これからの農業のあり方が注目されている中、私自身は近い親戚に農業を営んでいるものがないので、いつか農業や農村での暮らしを経験してみたいと考えていました。今回の企画を通して、私のような世代に自分が得たもの感じたものを発信していけたらいいなと思っています。(広島市)

・プログラムの内容が楽しそうだったのと、気分がリフレッシュできそうだったので申し込みました。(広島市)

## 参加のしおり

都市農村交流モニタリング事業

村まつり民泊 きめな川面  
いつわの里

### 参加のしおり



- 実施日 / 平成21年 10月10日(土) ▶ 11日(日) ●ワークショップ(参加必須) 11月8日(日)
- 集合 / 広島駅8:30・三次駅10:00または現地10:30※送迎バスを運行します。
- 解散 / 現地14:00・三次駅14:30・広島駅16:00
- 参加費 / 原則 **無料** (一部食事代3,000円をご負担ください)  
体験レポートの提出協力が必須条件となります。

参加のみなさまへ  
おてがみ

里では、「稲刈りは済んだか？」が挨拶言葉の今日この頃。三次は霧の海のシーズンを迎えています。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

さて、このたびは、「都市農村交流モニタリング事業」に参加申込みくださりありがとうございます。おかげさまで多数の申込みがあり、またあたたかな参加動機を寄せていただき、地域は活気づいています。

なにしろ、私たちにとって初めての取り組みです。なにか行き届かない点、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、みなさんとの出会いの日をドキドキしながら楽しみにしております。

お泊りいただく家は、普通の民家です。田舎の親戚の家に泊まりに行くようなつもりで、準備をしてきてくださればと思います。

また、泊まる農家の方と一緒に灯ろうを持って上がる神社で行なわれる夜祭りは、深夜11時頃まで続きます。しっかりと上着を着こんで冷え込まないようにしていただければと思います。

では。  
10月10日にお会いできるのを楽しみにしております。

都市農村交流モニタリング事業  
スタッフ住民一同

## 当日のスケジュール

## ■一日目

時間	場所	内容
8:15~	広島駅新幹線口	受付開始
8:30	広島駅~三次へ	バス出発
10:30	ほしはら山のがっこう	オリエンテーション はがまごはんを食べよう 自然体験
15:00	有原集会所	灯ろうづくり体験 おやつ・プロフィールカードづくり
16:00	有原集会所	民家の方と対面式 自己紹介など
17:00	民家へ	民家の方の車で移動 交流 夕食をいっしょに作る~夕食
20:00	神殿入(こうどなり) 集合場所~神社へ	泊まるお宅の方といっしょに 灯ろうをもって神社まで上がる
20:30	有原天満宮	神事 田舎芝居 おでんや回転焼、お酒などが振舞われます
23:00	民家 泊	風呂・語らい 就寝

## ■二日目

朝	民家	さんぼ・朝食など
10:00	有原集会所	民泊先の方とおわかれ
10:30	①掃海寺 ②有原~白糸の滝 ③ほしはら山のがっこう	体験コースにわかれる。
12:30	ほしはら山のがっこう	昼食
13:10		ふりかえり・感想のわちあい
13:40		閉校式
14:00		解散・バス出発
16:00	広島駅新幹線口	到着・最終解散

\*時間・スケジュールは、多少変更する場合があります。

\*11月8日(日)のワークショップ(広島市内にて開催)の詳細は、後日お知らせいたします。

## ■もちもの

- 洗面用具一式(タオル・歯ブラシなど)
- 着替え
- 寝間着
- 防寒着
- 軍手
- 保険証
- 参加費(食費)3000円
- そのほか、個人の荷物

## ■服装

- 活動しやすい服がよい
- スポン着・はきなれた運動靴・帽子

## ■その他

- 祭りでは、地域の方による出店がありますが、振る舞いなので、お賽銭以外のお財布は不要です。
- 二日目の選択コースで、①座禅体験を選択された方の服装は、活動着です。スポンは、正座しやすいジャージなどがふさわしいそうです。
- 二日目の選択コースで、②里山歩きを選択された方の服装は、長そで・長スポン・くつした・はきなれた運動靴です。

## 二日目の選択コースのご案内

## ■座禅体験

川西地区の海渡(うと)という地域にある、「掃海寺」で行なわれます。この寺には、天文12年(1543)城主和智豊実が寄進した木造の薬師如来坐像が安置されていて、県の重要文化財に指定されています。

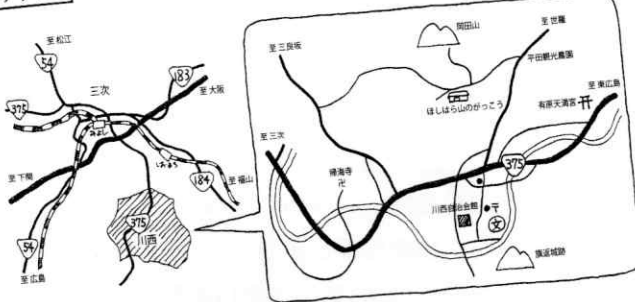
## ■里山歩き

有原集会所から、三若の白糸の滝まで、美波羅川沿いにカントリーウォークを楽しみます。滝の入り口辺りから、山道を15分程度上がります。1時間半くらいのおしゃべりもはずむウォーキングです。おながすいて、お昼ごはんがおいしいですよ!

## ■木・竹のクラフト

里山の雑木で、ナイチャークラフトをします。木の笛ペンダントやがざりものなど、雑木のさまざまな形を生かしながら作業しましょう。アドバイスを地元の工作名人(子どもの頃、なんでも自分で作って遊んでおったけえのお〜)がしますよ。

## アクセス



**川西自治会館**  
 〒728-0621 広島県三次市三若町2551-1  
 Tel. Fax 0824-69-2526

**ほしはら山のがっこう**  
 〒728-0624 広島県三次市上田町388  
 Tel. Fax 0824-69-2888

# 里山歩きフィールドビンゴカード

## 「10月の有原町ウォーク版」

里山歩き  
field bingo  
フィールド ビンゴ

どんぐり	鳥の 鳴き声	稲わら	地元の人	田舎の におい
はくさい	くりの実	虫の 鳴き声	煙	紅葉した 葉
石垣	おじぞう さん	白糸の滝	けもの道	きのこ
初めて 見る花	いちじく	昭和 50年	ザクロ	サル 見ざる 言わざる 聞かざる
落葉を ふむ音	宝物に なりそうなお 拾いもの	1句 詠む	いのしし の柵	サンショウ の葉

都市農村交流 モニタリング事業

2日目の農村体験  
里山歩きコースのために、  
実行委員が作りました。

### フィールドビンゴのルール

- 里山や農村の風景の中の宝物をさがしながら、のんびり歩きましょう。
- 地元の方に出会ったら、あいさつをしましょう。
- ビンゴの中にあるものを見つけたら、○をつけましょう。
- 余白や裏には、メモしたいことがあったら書きとめておきましょう。
- 木の実や葉っぱなど、ひろってもよさそうなものは、ゴール地点で見せあいましょう。  
その際、環境などに十分配慮しましょう。
- できれば、ひとりで見つけずに、近くにいる人と発見をわかちあい、おしゃべりを楽しみましょう。
- たて、よこ、ななめに5つの丸が1列がそろったら、「1列」とカウントします。  
たくさん発見すると、うれしいし、楽しいですよ。「5列」カウントを目指しましょう。
- 帰ってきたら、どんな発見があったか、面白いと感じたもの、感動したものなど、みんなで教えあいましょう。
- 草むらにはマムシがいます。また、ハチやカブレの木などに気をつけましょう。
- 車道では車に十分に気をつけて歩きましょう。

里山歩き  
field bingo  
フィールド ビンゴ


まめな川西いつわの里  
Miyoshi Hiroshima

copy 可

## ウェルカムカード

\_\_\_\_\_  
さんへ。

泊まる農家は、

さんち じゃけえの。

それから、二日目の体験コースは

。楽しみじゃのお。

緊急のときは、下の電話番号にかけるんよ。  
\*自治会館事務局 (福永のおっちゃん)

\*泊まる家の電話番号

空欄に手書きをして、  
当日の受付でお渡ししました。  
裏はネームカードにしました。



# 県北

# 都市と交流へ 農村民泊募る

来月10・11日 三次の川西地区

## 祭り参加や里山歩き

三次市川西地区の住民グループが10月10、11の両日、地区の村祭りや民泊などの農村体験をしてもらうプランを企画し、参加者を募っている。都市と農村の交流を目指す実行委員会が、都市住民の意見を探るモニターングツアーとして企画した。対象は若い女性25人程度。応募締め切りは9月17日。

(余村泰樹)

民泊は有原町で実施する予定。2日目は、想的な有原天満宮の神殿入に参加。ほかまで新米を炊いたり、祭りのときに食べるワニ(サメ)やもぐりすしを民泊先で味わったり

が難しくなった水田11町を4時間かけて耕し

三次支局 08224(63)5155 FAX(65)00888  
 庄原支局 08224(72)0149 FAX(75)00229  
 安芸高田支局 08226(42)0063 FAX(47)00200  
 東城ステーション 08477(2)0560

### バス事故を想定

バス事故を想定する。2日目は、里山歩きやクラフト、座禅体験などをする。地区は、旧上田小を活用した交流型農村体験施設「ほしほら山のがっこう」を中心に自然や農村体験など田舎の資源を生かした地域

員は、負傷者をけがの

材ト裁がる 社チフ

中国新聞に載せていただきました。



住民の指導を受けながら、灯籠作りをする参加者

農村体験を通じ  
都市住民と交流  
三次の川西地区  
三次市川西地区の住民グループが10日、都

市部の住民を招き、1泊2日の交流会を開いた。参加者は地元祭りに参加したり、農家に泊まったりして、農村体験を楽しむ。広島市などから20〜30代の女性や家族連れなど25人が集まった。地区の集会所で同日夜にある祭り「神殿入」の灯籠を作った。参加者は住民の指導を受けながら和紙を色付けして灯籠を組み上げた。

友人と参加した広島市西区の会社員、竹森佳奈さん(22)は「まさ割りが楽しかった。地元の人と一緒に作業して一体感ができた」と満足そうだった。

交流会は、外部の視点で地域の魅力を探るため、住民でつくる「川西里づくり委員会」が企画した。

2009年10月11日 県北面

## 募集します！交流ワーキングスタッフ

「村祭り」と民泊体験」

アクションプログラム作りと実践

都市農村交流モニタリング事業を今秋実施

里づくり委員会では、平成十八(2006)4月に策定された「まめな川西いつわの里づくりビジョン」に基づき、「いつわで創る田舎暮らしが楽しい里」を目指してさまざまな実践プログラムを調査研究しています。

特に「自然・文化部会」では「田舎のすぐれた自然・生活文化・教育環境の継承発展とグリーンツーリズムの推進」というテーマで取り組んでいます。「もっと・もっと必要なものは何か?」「ほしはら山のがっこう」活動だけでなく、地域的参加と活躍の場をもったものがどこまで何ができるかが不明でした。

この度、三次市の「まちづくり推進支援事業」ができたことに伴い、この事業により思い切った実践してみようということ応募したところ採択していただきました。

で、この助成を受けて、「都市農村交流モニタリング事業」を実施する運びとなりました。

この事業を推進するに当たっては、民泊や指導・説明・交流に参加いただく地元地域の皆様のご理解・ご協力を仰がねばなりません。この事業全体を取り仕切る実行部隊として、具体的企画、運営、振り返り(反省)、ワークショップなどに参画していただける交流ワーキングスタッフ(実行委員)の必要があります。この趣旨をご理解いただき、一緒にトライしてみようという方を募集いたしますので、ふるってご応募くださいますようお願いいたします。

都市農村交流モニタリング事業(アクションプラン作りと実践)

「若い女性をターゲットにした田舎体験プログラム」

里づくり委員会ワークショップ作成

キャッチコピー **モニター募集「村まつりと民泊体験—1泊2日」**

【内容】

- ①スタッフ募集と交流プログラムの具体化(7月)
- ②アクションプログラム作成と参加モニター募集(8月~9月)
- ③実施(10月第2土・日曜) 有原天満宮秋季例大祭をターゲットに  
※地域の多くの人々との交流が望め、伝統文化に触れられ、田舎性に富み、特色が出せるものとして、前夜祭に神殿入りが実施されている
- ④交流中心施設「ほしはら山のがっこう」
- ⑤座禅体験・史跡散策・木や竹のクラフト作り等、  
地域資源と組み合わせる
- ⑥モニター参加者の参加料は原則無料とするが、  
体験レポートの提出を求める



川西広報43号

**モニター募集中！！村まつりと民泊体験**  
 有原天満宮神殿入りとほしはら山のがっこうを中心  
 有原町各農家にホームステイ・海渡町帰海寺座禅など  
 都市農村交流モニタリング事業進行中

七月の広報川西第四〇号でお知らせしましたとおり、「里づくり委員会自然・文化部会」では、「田舎のすぐれた自然・生活文化・教育環境の継承発展とグリーンツーリズムの推進」というテーマを取り組んでいます。

「ほしはら山のがっこう」活動にとどまらず、川西地区全体に広がりを持たせた地域的参加と活躍の場を持つ、どんなものがどこまでできるか、三次市の「まちづくり推進支援事業」により思い切った実験してみようということで、「都市農村交流モニタリング事業」を進めています。

先日、この事業全体を取り仕切る実行部隊として、具体的企画、運営、振り返り(反省)、ワークショップなどに参画していただけ交流ワーキングスタッフの方を募集し、実行委員会を立ち上げ、役

員を次のとおり選出しました  
 委員長 松田信正(自治連合会長・有原町内会長)  
 副委員長 金末忠則(里づくり委員会自然・文化部会長)・原田裕子(里づくり委員会副委員長・有原町女性会世話人)  
 事務局 竹広愛(ほしはら山のがっこう体験部長)

詳細は次ページ案内チラシのとおりです。何分、地域的取り組みは初めてのこと。「やってみることに意義がある」試みです。ホームステイをお受けいただいた農家の方、総代様を初め祭り関係者、クラフト、灯籠づくり、座禅などなど、さまざまな場面で世話をいたしたく方に感謝を申し上げますとともに地域の皆様のご協力ご支援をよろしくお願いします。



**速報！ 広島県消防ポンプ操法大会 川西分団優良賞受賞！**



川西選手の操法(放水)風景

9月9日広島県消防学校で行われた大会で、市消防団を代表して川地分団とともに出場。出場順が2番目という条件にもかかわらず、地元の大勢の声援を受け訓練の成果を遺憾なく発揮し、7位となり、優良賞を受賞の大健闘でした。

松井克也(指揮者)、堂本明彦(1番員)、三原太一(2番員)、前克浩(3番員)、福永一章(補助員)の選手を初め、団員の皆さん大変ご苦労様でした。



川西広報43号


  
 広報  
 川西

## 第61回 地域起しの歴史と 伝統と文化です。

# 川西ふれあいまつり開催

ふるさとふところ(懐)イベントとして  
「いつわで創る田舎暮らしが楽しい里」づ  
くりをめざす恒例のまつりです  
皆様の楽しさを持ち寄り、「ふるさとの宝を  
ほりおこしま  
掘起資磨しよう」

11月15日(日)10時～

小学校グラウンド、川西自治会館ほか  
(別添の特集号をご覧ください。)

**今年は無料シャトル(送迎巡回)バ  
スを運行します。**

ご利用ください(お酒も安心ですね)。  
運行時間やコースは10月末送付のプロ  
グラムパンフに掲載します。

**参加定員満杯!!!村まつりと民泊体験**  
10月10日有原町各農家にホームステイ  
広島、呉、岩国などから若い女性の応募があり、25名の定員満杯で一時はキャ  
ンセル待ち。有原天満宮神殿入り、ほしはら山のがっこう田舎の食事作り、里山歩  
き、海渡町帰海寺座禅体験などで来川西。次号でその内容をお知らせします。  
なお、11月8日には広島市で参加者とともに「振り返りワークショップ」を開催  
の予定です。

都市農村交流モニタリング事業

### 優良運転者表彰 受付

無事故無違反5年ごとに優良  
運転者を表彰します。

#### 受付期限

平成21年12月15日(火)まで

#### 表彰区分

5年、10年、15年、20年、25年、  
30年、35年の各年以上

#### 提出書類

- ①無事故・無違反証明書
- ②SDカード・交通安全協会会員証の  
複写

#### 提出先・問い合わせ

三次交通安全協会川西支部  
(川西自治会館内 電話 69-2526)

### 各町敬老会開催

今年度川西地区敬老対象者(八十歳以上)は、  
男性七十二人、女性一四九人の合計二二一人の方  
でした。

ちなみに、最高齢は、女性で上田町宇山アキコさ  
ん、同町児玉コスギさん、有原町  
福庭若枝さんで、ともに九七  
歳。男性では有原町の堀下逸二  
さん九六歳です。  
「長寿誠におめでとうござい  
ます。」



川西広報 44号



灯籠持って神殿入へ

「これからの農業のあり方に注目されている中、今回の企画を通じて私のような世代に発信していきたい」  
「いろいろ考えさせられました。都

ことで取り組んだものです。有原町の方からは、「祭りが若い女性が多くて華やかに賑い、灯籠も良くなつた。」ホームステイ家は、「夜遅く朝早く、イヤー疲れた。しかし、飲みと会話の楽しい祭りができた。見てもらいたい、経験してもらいたいものがない。思っていた以上のすごい反響。地元若い男性がおれば、もったいない。かかわった人々全てが活性化した。」など感想が寄せられました。  
参加された方から報告されたの参加動機、感想の一部を紹介します。



里山歩き体験

「初めに、お客さんじゃなくて娘になってもらうから、手伝いもわりするんぞー！と言われていたので、自分たちのスタンスが分かって安心して過ごすことができた。どうしようか迷わないのは、かなり重要だと思います。」  
「とにかくすべての出会いに感謝です。スタッフの方、民泊先の方、参加者の方、ありがとうございました。自然に囲まれていること、ありがたさを実感しました。みなさん笑顔が素敵です。」  
「本当に初めて&貴重な体験ばかり。田舎の方々の人柄の良さに感動してばかりでした。絶対お世話になったおうちにまた来

市と農村のこれらの在り方をめぐって」  
「初めに、よお来てくださったね。ありがとねーとおばあちゃんに言われたのが感激だった。家族のタンスで皆さん接して下さった。うらの畑での収穫やイノシシの足跡みつけたり、交流の素材はいっぱいあるなーと思う。」



座禅体験中

くりなど若連の方、弁当作りの方、座禅指導などなど、さまざまな場面でお世話をお願いした皆様のご協力とご支援に改めてお礼申し上げます。

たいです。」  
「たくさんさんの良い御縁に恵まれて幸せ！」  
本事業を通じて、交流に必要な農林漁業体験民宿や食品加工施設などの諸制度地域の伝統的工芸、文化、料理など、もう少し詳しく知りたい、などの声も出ています。  
11月8日には、広島市で参加者とともに「振り返りワークショップ」を開催の予定です。今回のモニタリング事業集約ができましたら、順次お知らせします。  
ホームステイをお受けいただいたお家の方、神社役員の方、神殿入りの灯籠づくり



川西広報44号



# 広報川西

第44号  
発行  
川西自治会館  
川西自治連合会  
TEL 69-2526  
2009.11.10

## とにかく全ての出会いに感謝です！ 大好評でした 村まつりと民泊

定員一杯25名若い女性の声が里に響きました。「また行くー！」

10月10日、11日の2日間、広島、呉、岩国など都市部の若い女性を中心に25名を招き、村まつりと農家泊や田舎体験の交流会を開きました。

初日は、広島駅に集合、バスでほしはら山の学校へ到着。参加者相互も初対面なので早速自己紹介と「ママシと蜂とかぶれの木には気を付けて」とオリエンテーションの後まき割り、羽釜でご飯づくりに挑戦。

有原集会所に移動し、たき火の焼き芋でお茶、灯籠づくり、2、3人に分かれ宿泊ホームステイの家族と対面式の後、各家へ。

各ホームステイ先では「ワニ」と「も



民泊家で一緒に食事づくり

ぐり寿司」の伝統的なお祭り料理。夜は灯籠をもって、有原集落から「奉」「鳥居」「山」「川」の大灯籠とともに「神殿

入(こうどなり)をし、地域のお酒やおでん、二重焼きなどの振る舞いと神楽と田舎芝居を楽しみました。

翌日は、有原集会所から白糸滝までの田舎歩

早朝、牛飼いも手伝い



ぎと海渡帰海寺での座禅の2つに分かれて田舎体験。田舎のおばさん手作り弁当で昼食、感想の分かち合いの後、解散しました。

本事業は、これまでお知らせしましたとおり、「都市農村モニタリング実行委員会(委員長 松田信正自治連会長)」で、グリーンツーリズムの活動を「ほしはら山のがっこう」活動にとどまらず、川西地区全体に広がりを持たせたものがどこまでできるか、三次市の「まちづくり推進支援事業」により思い切った実践してみようということ、「都市農村交流モニタリング事業」として進めてきました。

何分、地域的取り組みは初めてのこと、都市の若い女性を招いたらどうなるか、とにかく体験してみることが大切という



まめな川西いつわの里  
Miyoshi Hiroshima



い  
な  
か  
↑  
↓  
ま  
ち

交  
流

い  
な  
か  
ツ  
ー  
リ  
ズ  
ム  
は  
じ  
め  
の  
一  
歩  
く  
都  
市  
農  
村  
交  
流  
モ  
ニ  
タ  
リ  
ン  
グ  
事  
業  
記  
録  
集

発行 / 川西自治連合会  
編集 / 都市農村交流モニタリング実行委員会  
印刷 / 株式会社青文社